

2021年4月21日

安田不動産株式会社

報道関係各位

2021年4月26日「神田ポートビル」グランドオープン！

～東京神田にサウナラボがやって来た。熱いぞ！～

安田不動産株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:中川雅弘)は築56年の印刷会社旧社屋を改修し、サウナラボを中心とした複合施設「神田ポートビル」を2021年4月26日(月)にグランドオープンいたします。生まれ変わった施設では、当社のまちづくりに共感したメンバーである株式会社ウェルビー(本社:愛知県名古屋市長、代表取締役社長:米田行孝)、株式会社ゆかい(東京都千代田区、代表取締役:池田晶紀)、株式会社ほぼ日(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:糸井重里)が新たに入居します。



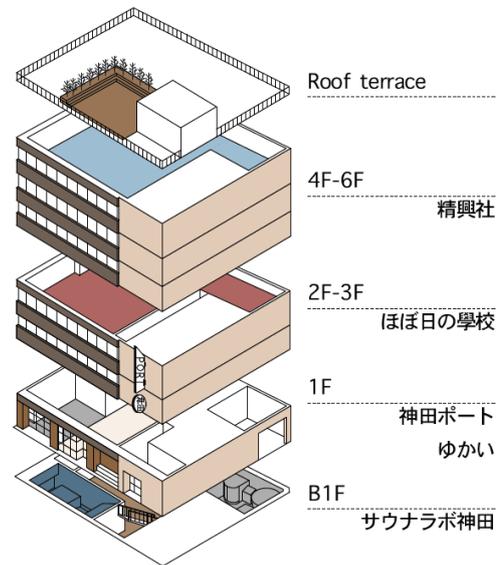
【まちづくりの新たな拠点、文化複合施設「神田ポートビル」】

神田錦町は、東京大学や学習院大学の発祥の地であり、周辺には現在も高校や大学・学術機関、出版社が集積する”学びのまち”として歴史を紡いできました。当社はこの地で長年オフィスビルの供給や、近年では皇居の近接に隣接する立地を活かし、ランナーズステーション等の特徴のある路面店舗を点的に誘致するエリアリノベーションを行ってきました。

「神田ポートビル」は神田錦町の歴史や立地を意識し、「アカデミック」と「ウェルビーイング」をテーマに、都市生活者の新たな居場所として、コミュニティを育み、新たな文化を創造する拠点となることを目指しています。

【施設構成】

地下1階に東京初出店となる株式会社ウェルビーが「サウナラボ」を運営。1階には株式会社ゆかいのオフィスとカフェ、ショップ、ギャラリーからなる「神田ポート」が、2階・3階に「ほぼ日の学校」の教室スタジオが、4階～6階には神田で100年以上も印刷業を営んできた「精興社」が入居し、屋上にはテラスが設置されます。



【「ウェルビーイング」×「アカデミック」の “ととのう” 場】

<ウェルビーイングとは>

神田ポートビルは、単に憩いの場を提供するだけではなく、心と体を擦り減らしながら都市をサバイブする人に向け、心地良い刺激や豊かな時間を提供したいと考え、サウナを中心にプロジェクトがスタートしました。

フィンランド式サウナは身体感覚を研ぎ澄まし、呼吸を意識することで、都市の中でも自然と繋がる可能性を秘めています。地下1階の「サウナラボ」での体験は、サウナの起源になぞらえ地下に籠って自分と向き合い、“ととのう”ことで新たなスタートに向け背中を押してくれます。

<アカデミックとは>

大学の発祥の地であるこの地に、「サウナラボ(B1F)」と「神田ポート(1F)」・「ほぼ日の学校(2-3F)」・「精興社(4-6F)」が個性を発揮し、集合することで、新しい価値を提供します。「神田ポート」ではカフェ、ショップ、ギャラリー、定期的なイベントの開催により知的好奇心を刺激され、「ほぼ日の学校」では深い専門性や遊び心を持った人の“経験”から学ぶ楽しみを発見し、老舗企業である「精興社」はこれからもこの街の発展を見守っていきます。



●サウナラボ神田(地下1階)

人も自然の一部だと気づき、野生に目覚めるのがサウナです。身体的感覚を取り戻し「こちよさ」を感じるのが、デジタルの時代には必要だと考え、都市でのストレスを開放する身近な自然として、この街にサウナという木を植えます。サウナは人と自然を繋ぎ、人と人とを繋げる場。新しい出会いがこの街に新たな風景を作ります。

運営:株式会社ウェルビー(URL:<https://www.wellbe.co.jp/>)

営業時間:12:00~21:00(※当面の間)

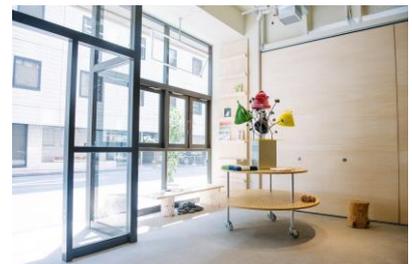
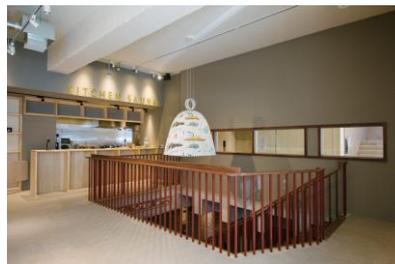


●神田ポート(1階)

エントランスを彩るカフェ、ショップ、ギャラリーからなるパブリックスペース。ほぼ日やウェルビーのグッズやゆかいセレクトのアート等、知らなかったモノとの出会いを生み、発見から心の動きや豊かな時間を提供する場所となります。

運営:神田ポート

営業時間:11:30~21:00(※当面の間)



●ゆかい(1階)

旧来の写真館のスタイルで新しいポートレートを探る自社プロジェクト「あかるい写真館」の活動を軸として、神田ポートビルのクリエイティブディレクションや、神田ポートで行われる各種イベント、展覧会の企画立案や運営を担います。スタジオ空間をベースに、各テナントや各フロアを横断する仕組みや、そうしたスペースの活用によって、人が集まり多様な交流や文化が生まれる場所を目指していきます。運営:株式会社ゆかい(URL: <https://yukaistudio.com/>)





●ほぼ日の學校 教室スタジオ(2, 3階)

たくさんの人に会い、話を聞くことから、誰もがたのしく学べる学校として、「ほぼ日の學校」が2021年にリニューアル開校します。神田ポートビルにオープンした教室スタジオは、アプリで届ける授業の収録のほか、サロンのように、リアルに人が集まりつながる場にもなっています。



運営：株式会社ほぼ日(URL: <https://school.1101.com/>)



●株精興社(4,5,6階)

大正2年(1913年)4月、青梅市出身の白井赫太郎が神田区美土代町に活版印刷所「東京活版所」として創業した印刷会社です。大正12年に神田錦町へ移転し、「精興社」となりました。「優れた印刷物で社会に貢献する」をモットーに、オリジナルの「精興社書体」を保有し、書籍や絵本を中心としたオフセット印刷を行い、はばひろい「紙の印刷」を続けています。(URL:<https://www.seikosha-p.co.jp/>)



【家からでも海の向こう側からでもアクセスできる神田“オープンカンダ(website)”も同時公開】

この街に昔からあるものたちと、新しくできるものたちが出会うところを切り取り、紹介するポータルサイト。施設情報のみならず、神田界隈を広く探索するオリジナルコンテンツも随時更新し、神田ポートビルの活動にあわせて神田の魅力を追求していきます。

(URL:<http://openkanda.mock.suichu.net/net>)



【当社が行ってきた神田錦町まちづくり】



【事業概要】

施設名: 神田ポートビル
所在地: 東京都千代田区神田錦町3-9
用途: 事務所・公衆浴場
構造・規模: RC造 地下1階地上6階 延床面積 2,980.52 m²
事業主: 安田不動産株式会社
企画支援: 藤本信行(バカンス株式会社)
デザイン監修: バカンス株式会社、株式会社須藤剛建築設計事務所
神田ポート(1F)プロデューサー: 小林知典(株式会社ゆかい)
クリエイティブディレクション: 池田晶紀(株式会社ゆかい)
ネーミング: 糸井重里(株式会社ほぼ日)
ロゴデザイン: 菊地敦己(アートディレクター)
協力: 日本ペイント株式会社、優美堂プロジェクト(東京ビエンナーレ 2020/2021)

＜リリースに関するお問い合わせ先＞

安田不動産株式会社 経営企画部 担当: 平田 (ひらた) ・志村 (しむら)

TEL 03-5259-0517 FAX 03-5259-0532

＜物件に関するお問い合わせ先＞

安田不動産株式会社 開発第一部第一課 担当: 芝田 (しばた) ・佐々木 (ささき)

TEL 03-5259-0522 FAX 03-5259-0533